

## おんあなたの学舎、おとこたちの立身<sup>1</sup>

——「長崎高等商業学校の夜学講習」考補遺——

阿部 安成

【お】

さきにわたしは、長崎高等商業学校の夜学講習のようすを伝える史料の紹介と、その夜学講習の講義録などの目録と、夜学講習で学んだおんあなたについての稿をあらわした<sup>2</sup>。長崎大学経済学部東南アジア研究所（以下たんに研究所と記す）には、長崎高商が開講した夜学講習についての文書がある。これは高商史料としては希有なことだとおもう。その主要な文書は受講生の願書綴で、最初に執筆した稿では全77回開講のうち30回分のそれが不明と記し、そののちの研究所スタッフによる調査でみつかった分をのぞいて不明は19回分となった。さらに研究所スタッフが調査をすすめてあらためてみつかった分と、わたしが見落としていた分とをのぞいて、2013年5月の時点で、全77回開講のうち不明は17回分である。じつに60回分の願書綴が残っていたことは、驚きの保管状況といってよい。

2013年7月発行予定の『女性史学』第23号に掲載される「おんあなたが学ぶ夜の場—長崎高等商業学校の夜学講習と受講者」には、わたしの見落とし分をのぞいた59回分の願書綴にもとづいて、長崎高商夜学講習を受講したおんあなたたちのようすを示した。その稿では、教官も生徒もおとこが占めていた高商において、おんあなたに許された勉学の機会が夜学講習だったことをとらえ、高商を考えようとするこれまでの研究者が、そこにいたも

<sup>1</sup> 本稿は2013年度科学研究費補助金基盤研究（C）「20世紀前期の帝国日本における実学実践と教養主義をめぐる文化研究」（課題番号24520746）による成果の1つである。

<sup>2</sup> 阿部安成「夜に学ぶ—20世紀前期の長崎高等商業学校における1万2036人への実務者教育」（滋賀大学経済学部 Working Paper Series No.144、2011年1月）、同「講義録瀬祭—長崎大学経済学部東南アジア研究所所蔵「長崎高等商業学校講義録」等目録」（同前 No.178、2012年11月）、同「おんあなたが学ぶ夜の場—長崎高等商業学校の夜学講習と受講者」（『女性史学』第23号、2013年発行予定）。以下学校名は長崎高商と略記する。

のたちの性に無頓着だったことを指摘するために、稿の副題を「長崎高等商業学校の夜学講習と受講者の性」とした。生徒はすべておとこ、教官もそのほとんどがおとこだったことが確かだとしても、高商をめぐる性をおとこに限定していたのではないかとの主張を副題の「性」の語に籠めた。

投稿審査において、この「性」の語によって原稿の内容が *sexuality* の議論とうけとられる恐れがあるため再考せよとの意見がでて、それにしたがって「性」の語を削除した。まあ誤解もよいかと大雑把にかまえていたわたしに、やはり副題であっても正確を期せという注意がくだったということだ。「性」の1文字を削ることに異議はなかったが、まあ、この経緯を記録しておくのもよいだろうとおもい、もともとの副題をここに示した。高商を考えると、そこでの「性」を注視することは重要である。

#### 【ん】

前掲「おんあなたが学ぶ夜の場」では、その執筆時点で願書綴の情報がわたしの手元にあった夜学講習 59 回分すべてにおけるおんなの受講生の受講科目などのようすを示した。わたしが見落としていた1点は、第60回夜学講習の願書綴だった。その文書綴からわかる夜学講習の概要をここに示そう。

第60回夜学講習は、1940年1月18日に開講し、同年2月21日に終了した1940年冬季の講習で、「戦時経済」（担当教官馬場誠教授）、「欧羅巴事情」（同伏見義夫教授）、「社会学概論」（同徳永新太郎教授）の3科目が開講された。これら3科目の講義録は研究所に残っている<sup>3</sup>。

第60回夜学講習受講者のなかにおんなが5名いた。その本籍（県名のみ）、住所（長崎市内町名まで）、生年、受講科目、最終学歴、職歴を順に記そう。

- ①熊本県、長崎市今魚町、1919年、社会学概論、長崎県立卒業、無職。
- ②長崎県、長崎市十人町、1918年、戦時経済、専門学校、長崎地方裁判所雇員。
- ③長崎県、長崎市下筑後町、1922年、戦時経済・社会学概論、長崎県立長崎高等女学校本

---

<sup>3</sup> 前掲阿部「講義録癡祭」を参照。

科卒業、活水女子専門学校予科在学中。

④長崎県、長崎市竹久保町、1916年、社会学概論、私立長崎女子商業学校卒業、三菱重工業株式会社材料課倉庫係勤務。

⑤高知県、長崎市炉粕町、1923年、戦時経済・社会学概論、長崎県立長崎女学校卒業、活水女子専門学校予科在学中。

なお、願書に性別は記されていない。そのため、たとえば、「道穂」という名のように、その受講生の性を定めがたいばあいがある。こうしたときには、さきの稿でもそうしたとおり、学歴や職歴によってその性を判断した。

この第60回のおんな5名はすべて新規受講で、のちの講習における受講申請もしていない、このときかぎりの受講生だった。おんなたちの受講科目数が1つか2つだったというようすは全講習に共通している。

第60回夜学講習を受講したおんな2名をとりあげよう。

③の受講生は、「履歴書」紙面をめいっばいに使って自分の履歴を伝えている。5行の「学歴」欄には、「昭和四年四月一日 長崎市勝山尋常高等小学校ニ入学／昭和十年三月二十日同校尋常科ヲ卒業／昭和十年四月六日 長崎県立長崎高等女学校本科ニ入学／昭和十四年三月十七日 同校本科ヲ卒業／昭和十四年四月七日 活水女子専門学校ニ入学目下在学中」とそのすべての欄を使い、「職業」欄4行には、「活水女子専門学校予科在学中／生徒」と記入したうえで、残り2行に「電話ハ残念乍ラ近クニアリマセン、然シ必要ノ場合ハ同講習ヲ受クル友人ヨリ通知シテモラヒマス」と記している。この「履歴書」にはとくに連絡先を記入する欄がないのだが、それを伝えるところは、それほどの受講意欲があるとの表明にみえる。

2行の「賞罰」欄には、「長崎県立長崎高等女学校卒業ニ当リ、学術優秀、品行方正ニ寄り芝蘭会賞及愛国婦人会賞ヲ受ク」と記されている。照れ隠しも見栄もなく、ありのまま率直に自分の長所を示したということだろう。

彼女の記述は「履歴書」の欄外にまでおよんだ。そこには、「右之通相違無之候也／昭和十五年一月十日」とみえる。学を修めようとする、数え年18歳のおんなの意気が籠る「履

歴書」である。

⑤の受講生は、本籍を高知県におきながら、東京市西南尋常小学校に1929年「三月」に入学し、ついで1933年4月に東京市松沢尋常小学校に転入学をする。1935年同高卒業後の4月に長崎県立長崎高等女学校に入学し、その4年後にそこを卒業し、その翌月1939年4月に活水女子専門学校予科に入学した。「職業」欄に「ナシ」と記しながら、その脇に「電話三三二九（自宅）」と記載し、「賞罰」欄には、「小学校在学中成績優等賞六回受ク、同ジク高女在学中三回受ク、ソノ他皆勤賞等数度受ク、高女卒業ニ当リ芝蘭会賞ヲ受与サル」と、そのうちの6文字だけ欄をはみだして記していた。

さきの③の受講生が連絡先としていた友人がこの⑤の人物なのだろう。ともに優秀なおんなたちである。

なお、さきの稿で、活水女子専門学校にかようおんなたちが長崎高商の夜学講習を受講していたことについて、同校の史誌の1つである、活水学院百年史編集委員会編『活水学院百年史』（活水学院、1980年）には、在校生が夜学にかよった学習の歴史が記されていないと指摘した。このいわば記述の空白は、活水女学校編『活水五十年史』（活水女学校、1929年）においてもおなじだった。

## 【な】

見落としていた願書綴によって、すでに脱稿して校正ゲラ刷りとなっている前掲稿の補遺となる本稿には、紙幅の余裕があるので、長崎高商夜学講習にかよったおんなたちだけでなく、おとこたちのようすも一瞥しておこう（後掲の表を参照。表の現住所、受講科目名、学歴、職歴は原史料に記載のとおり入力した）。

まず、第60回夜学講習の男女あわせた受講許可者数、習了者数、検定合格者数、合格率（習了者数 / 検定合格者数）を、授業科目順にあげると、「戦時経済」50、43、34、79.1、「欧羅巴事情」31、25、22、88.0、「社会学概論」45、38、25、65.8、となる。この回の卒業生数は5だった<sup>4</sup>。この第60回では、さきに示したとおり、おんなの受講申請者は5

---

<sup>4</sup> 前掲阿部「講義録癩祭」を参照。また、検定合格や卒業の制度については前掲阿部「夜

名、おとこは74名となる（うち2名は受講取消。番号24と48）。

おとこたちのなかで、1科目受講希望者が40名、2科目が17名、3科目が17名いた。1科目申請がもっとも多いところは男女に共通するが、3科目申請者の比率はおんなよりおとこのほうが高い。おとこたちのなかで47名が継続受講である。

継続受講についてみると、3科目申請17名のうち10名が継続（58.8%）、2科目申請17名のうちだと14名がそれ（82.4%）、1科目申請40名のなかでは22名（55.0%）となる。

おとこたちの勤務先は、三菱関係が26名ともっとも多い（35.1%）。長崎電信局の15名も目にとまる、おとこたちの勤務先となっている（20.3%）。彼らの多くが通信講習所または通信講習所を卒業している。なかには、熊本通信講習所高等科を卒業して、長崎通信講習所の教官となったものもいる（番号26）。

番号9のおとこは、長崎高商夜学講習に出席して「十三科目ヲ終了シ試験ニ合格ス」と学歴欄に記している。このとき受講申請した「欧羅巴事情」に合格すれば、さらにあと1科目の合格で卒業資格を得ることとなる。

稀有な経歴としては、番号70の東京帝国大学法学部卒業者がいる。1906年生まれのおとこはこのとき30歳台なかば。詳細は不明。

また番号73は、長崎県西彼杵郡日見村を本籍地とする20歳台なかばのおとこ。地元の日見尋常高等小学校卒業（1929年）ののち、台北州立第一中学校に入学、同校卒業後（1934年）、台北官立高等商業学校に入学するも、「家事の都合上退学」した。同校退学の年（1935年）の5月には、株式会社資生堂庶務課へ入社、その後3年の勤務を経て同社退社のうえ「一家内地へ引揚げ」（1938年）、退社の翌年（1939年）に小菱醤油株式会社社会計部へ入社して現在にいたる、との経歴をもつ。また、これは1939年のことなのか、「拾壹月ノ文化成人講座ノ講習ヲ受ク」とも附記されている。彼についても、詳細は不明である。

この膨大な情報が掲載された〔長崎高商夜学講習願書綴〕をどのように活用するか。そのくふうが必要となる。今後の課題としよう。

---

に学ぶ」を参照。

第60回夜学講習  
おとこたちの受講申請情況

番号	本籍地	現住所	生年	受講科目名	学歴	職歴	
1	鹿児島県	長崎市岩川町	1921年	戦時経済、欧羅巴事情、社会学概論	長崎市立商業学校卒業	東邦電力株式会社長崎支店	継
2	鹿児島県	長崎市旭町長崎要塞司令部内	1914年	戦時経済	鹿児島県立鹿屋農学校卒業	長崎要塞司令部軍人	新
3	長崎県	長崎市紺屋町	1918年	社会学概論	長崎県立瓊浦中学校卒業	長崎本博多郵便局	継
4	長崎県	長崎市東上町	1917年	戦時経済	長崎市立商業学校卒業	長崎高等商業学校会計課	新
5	長崎県	長崎市中小系町	1908年	戦時経済	通信講習所普通科卒業	長崎電信局在勤通信書記補	新
6	長崎県	長崎市館内町	1904年	戦時経済	通信講習所普通科卒業	長崎電信局通信課	継
7	大分県	長崎市出来大工町	1902年	社会学概論	長崎高等商業学校夜学講習科卒業	長崎電信局在勤通信省官吏	継
8	鹿児島県	長崎市南山手町	1921年	戦時経済	鹿児島商業学校卒業	三菱電機株式会社長崎製作所	継
9	長崎県	長崎市本籠町	1907年	欧羅巴事情	長崎高等商業学校夜学講習会 [13科目終了試験合格]	長崎市役所会計課勤務長崎市書記	継
10	鹿児島県	長崎市立山町	1921年	戦時経済、社会学概論	宮崎県立都城商業学校卒業	三菱長崎造船所労務課立神賃料係	継
11	長崎県	長崎市片淵町	1891年	戦時経済	長崎高等簿記学校卒業、長崎高等商業学校夜間講座	三菱重工業株式会社長崎造船所労務課社倉係現金受附	*
12	福岡県	長崎市出島町	1915年	戦時経済、欧羅巴事情、社会学概論	福岡県立糸島農学校退学	青木洋鉄商店長崎支店	新
13	島根県	長崎市旭町	1896年	戦時経済、欧羅巴事情	島根県立松山中学校卒業	三菱長崎造船所警務課	継
14	長崎県	長崎市新橋町	1919年	戦時経済、社会学概論	長崎市立第二商業学校卒業	三菱長崎造船所材料課艀装品庫記録工	継
15	長崎県	長崎市中新町	1920年	社会学	長崎市立第二商業学校卒業	三菱長崎造船所材料課倉庫係	新
16	鹿児島県	長崎市諏訪町	1922年	戦時経済	鹿児島商業学校卒業	長崎造船所立神賃料係	継
17	長崎県	長崎市八坂町	1897年	戦時経済	長崎市鎮西学院卒業	長崎不動産取引株式会社	新
18	宮崎県	長崎市片淵町	1911年	戦時経済	宮崎中学校卒業	三菱長崎造船所	新
19	長崎県	長崎市西山町	1912年	戦時経済	湯江尋常高等小学校卒業	長崎職業紹介所事務嘱託学務部職業課	新
20	長崎県	長崎市片淵町	1920年	戦時経済	長崎県立佐世保商業学校卒業	三菱重工業株式会社長崎造船	新
21	長崎県	長崎市本籠町	1918年	欧羅巴事情	長崎県師範学校本科第二部卒	長崎市仁田尋常高等小学校訓	新
22	長崎県	長崎市上小島町	1903年	社会学概論	長崎郵便局通信生要請所卒業	長崎電信局通信書記	継
23	長崎県	長崎市竹之久保町	1909年	欧羅巴事情	日華商業学校	長崎市役所	継
24	長崎県	長崎市油屋町	1912年	社会学概論	長崎高等商業学校貿易別科卒	無	継
25	鹿児島県	長崎市山里町	1916年	戦時経済、欧羅巴事情、社会学概論	京都高等蚕糸学校蚕業実科卒	西彼杵郡養蚕業組合技手	新
26	長崎県	長崎市中新町	1912年	欧羅巴事情	熊本通信講習所高等科卒業	長崎通信講習所教官	継
27	長崎県	長崎市山里町	1920年	欧羅巴事情、社会学概論	長崎市立商業学校卒業	三菱長崎造船所材料課製材工場勤務	*
28	長崎県	長崎市浜口町	1920年	戦時経済、社会学概論	長崎県立佐世保商業学校卒業	三菱重工業株式会社長崎造船所総務部労務課立神資材係勤	継
29	熊本県	長崎市伊勢町	1914年	戦時経済、欧羅巴事情、社会学概論	熊本市商工専修学校(夜間)卒	安田銀行長崎支店員	新
30	長崎県	長崎市入江町	1903年	欧羅巴事情	長崎市立商業学校卒業	金物商	新
31	長崎県	長崎市十人町	1914年	戦時経済、欧羅巴事情	市立第二商業卒業	長崎県庁庶務課勤務	継
32	長崎県	長崎市新橋町	1920年	戦時経済、社会学概論	長崎市立商業学校卒業	三菱重工業株式会社長崎製鋼所会計課	継

第60回夜学講習  
おとこたちの受講申請情況

33	熊本県	長崎市大浦相生町	1920年	戦時経済、欧羅巴事情、社会学概論	長崎市立第二商業学校卒業	長崎県総務部会計課勤務	継
34	長崎県	長崎市東小島町	1900年	戦時経済	長崎商業卒業	長崎不動産取引株式会社	継
35	長崎県	長崎市中新町	1907年	社会学概論	通信講習所普通科卒業	長崎電信局在勤官吏	新
36	佐賀県	長崎市西上町	1921年	戦時経済、欧羅巴事情、社会学概論	長崎市立商業学校卒業	昭和無尽会社、三菱兵器製作所	継
37	長崎県	長崎市中新町	1906年	戦時経済	通信講習所普通科卒業	長崎電信局在勤官吏	新
38	長崎県	長崎市松山町	1910年	社会学概論	長崎市立商業学校卒業	三菱重工業株式会社長崎造船所会計課	継
39	長崎県	長崎市橋口町	1920年	戦時経済、欧羅巴事情	長崎市立商業学校卒業	三菱重工業株式会社長崎製鋼所総務課	継
40	福岡県	長崎市浜口町	1921年	欧羅巴事情、社会学概論	長崎県立佐世保商業学校卒業	三菱長崎造船所製材工場勤務	継
41	長崎県	長崎市山里町	1908年	戦時経済、社会学概論	長崎通信講習所卒業	長崎電信局通信課勤務	継
42	長崎県	長崎市目覚町	1921年	社会学、ヨーロッパ事情	長崎市立商業学校卒業	東邦電力株式会社長崎支店勤	継
43	福岡県	長崎市浜口町	1921年	欧羅巴事情	久留米商業学校卒業	三菱長崎造船所立神賃料係	継
44	長崎県	長崎市麴屋町	1914年	戦時経済、社会学概論	長崎市立商業学校卒業	長崎県学務部職業課勤務	継
45	長崎県	長崎市幸町	1918年	欧羅巴事情	長崎市立商業学校卒業	長崎税務署属	継
46	佐賀県	長崎市浜口町	1921年	戦時経済、社会学概論、欧羅巴事情	佐賀県立唐津商業学校卒業	三菱重工業株式会社長崎製鋼所会計課	継
47	長崎県	長崎市西坂町	1908年	社会学概論	通信講習所普通科卒業	長崎電信局通信課勤務	新
48	長崎県	長崎市片淵町	1914年	戦時経済、欧羅巴事情、社会学概論	福岡県農士学校卒業	清水造船鉄工所社員	新
49	長崎県	長崎市十人町	1897年	戦時経済、欧羅巴事情、社会学概論	通信生養成所卒業	長崎電信局官吏	継
50	長崎県	長崎市東立神町	1919年	戦時経済、社会学概論	長崎市立第二商業学校卒業	三菱重工業株式会社長崎造船所鑄造工場記録工	継
51	長崎県	長崎市東浜町	1905年	戦時経済、欧羅巴事情、社会学概論	長崎市立商業学校卒業	大丸洋品店	*
52	長崎県	長崎市山里町	1916年	戦時経済、欧羅巴事情、社会学概論	長崎三菱職工学校卒業	三菱重工業株式会社長崎兵器製作所記録工	継
53	鹿児島県	長崎市大浦日之出町	1907年	社会学概論	熊本通信講習所長崎支所卒業	長崎電信局通信課	継
54	長崎県	長崎市小川町	1917年	社会学概論	鎮西学院中学部卒業	長崎高商第二学年在学中	継
55	宮崎県	長崎市西中町	1921年	戦時経済	宮崎県立都城商業学校卒業	長崎造船所会計課勤務	継
56	長崎県	長崎市寿町	1918年	社会学概論	長崎県立瓊浦中学校卒業	長崎県学務部職業課	継
57	長崎県	長崎市平戸小屋町	1900年	戦時経済、欧羅巴事情、社会学概論	三菱工業学校夜学部卒業	三菱長崎造船所工事人工見積及工場庶務係勤務	継
58	長崎県	長崎市諏訪町	1921年	戦時経済	長崎県立佐世保商業学校卒業	三菱重工業株式会社長崎造船所労務課社倉係勤務	新
59	長崎県	長崎市山里町	1917年	社会学概論、戦時経済	長崎県立瓊浦中学校卒業	長崎県雇(学務部職業課勤務)	継
60	宮崎県	長崎市下筑後町	1910年	戦時経済	宮崎県立都城商業学校卒業	三菱重工業株式会社長崎造船所会計課	新
61	長崎県	長崎市鳴瀧町	1919年	社会学概論	長崎市立商業学校卒業	東邦電力長崎支店	継
62	長崎県	長崎市西山町	1904年	社会学概論	長崎県師範学校本科第二部卒	長崎市西坂尋常高等小学校訓	新
63	長崎県	長崎市西坂町	1918年	戦時経済、欧羅巴事情、社会学概論	長崎市立第二商業学校卒業	三菱電機株式会社長崎製作所総務課材料係勤務	継
64	長崎県	長崎市小菅町	1912年	戦時経済、欧羅巴事情、社会学概論	長崎通信講習所卒業	長崎電信局通信課	継
65	長崎県	長崎市西坂町	1901年	戦時経済、社会学概論	元長崎郵便局通信生養成所卒	長崎電信局通信課勤務通信書	継

第60回夜学講習  
おとこたちの受講申請情況

66	長崎県	長崎市戸町	1903年	戦時経済	長崎商業学校卒業	鶴海購買組合理事	*
67	長崎県	長崎市恵美須町	1896年	社会学概論	逋信官吏練習所卒業	長崎電信局書記	継
68	長崎県	長崎市八百屋町	1921年	社会学概論	長崎市立商業学校卒業	三菱長崎造船所労務課立神賃料係	継
69	長崎県	長崎市出来大工町	1905年	戦時経済	長崎通信生養成所卒業	長崎電信局通信課	継
70	鹿児島県	長崎市紺屋町	1906年	戦時経済、欧羅巴事情	東京帝国大学法学部卒業	東邦電力株式会社長崎支店	新
71	長崎県	長崎市岩川町	1915年	戦時経済、欧羅巴事情	県立瓊浦中学校卒業	三菱長崎製鋼所材料係勤務	継
72	長崎県	長崎市立山町	1898年	戦時経済、欧羅巴事情、社会学概論	長崎逋信講習所卒業	長崎電信局通信課勤務通信書	継
73	長崎県	長崎市紺屋町	1914年	戦時経済、欧羅巴事情、社会学概論	台北官立高等商業学校退学	小菱醤油株式会社社会計部	*
74	長崎県	長崎市稲佐町	1920年	戦時経済、欧羅巴事情、社会学概論	長崎市立商業学校卒業	三菱重工業株式会社長崎造船所労務課勤務	*